



南海電鉄グループの環境保全の取り組み

2016年2月22日

南海電気鉄道株式会社





目次

1. 会社概要
2. 環境経営のあらまし
3. 環境経営の主な取り組み
 - 3-1. CO₂削減のための中期環境目標の設定
 - 3-2. 森林保全活動と従業員の意識向上
 - 3-3. 自治体との協働および地域活性化への貢献
4. 今後の活動方針



1. 会社概要

2015年3月31日現在

■社名	南海電気鉄道株式会社
■創業	明治18年（1885年）12月27日
■本社事務所	大阪市浪速区敷津東二丁目1番41号
■資本金	729億8365万円
■事業内容	鉄道事業、開発事業、流通事業、 土地建物賃貸事業、遊園事業
■グループ会社	58社
■営業収益	922億円（単体） 2,100億円（連結）
■従業員数	2,577人（単体）8,808人（連結）
■営業キロ程	154.8km
■車両数	702両



沿線地図

沿線マップ

- 近畿圏 --- 阪神線
- 近畿圏 --- 近畿圏線
- 近畿圏 --- 近畿圏線
- ケーブルカー --- ケーブルカー
- バス --- バス
- バス --- バス
- バス --- バス

関西空港

空港線

多奈川ビオトープ

和歌山城

なんばパークス

高野山金剛峯寺



南海グループの事業

鉄 道



軌 道



運輸業

バ ス



フェリー



不動産事業



流通事業



レジャー・サービス事業





2. 環境経営のあらまし

- | | |
|---------|--|
| 2004年 | 環境理念・環境方針策定 |
| 2008年6月 | 環境推進部発足 |
| | 中期経営計画「堅進126計画」の5つの基本方針
「環境保全のための取り組み強化」を掲げる |
| 2009年6月 | 大阪府と「グリーンパートナー協定」を締結 |
| 2010年3月 | 千代田工場（大阪府河内長野市）でISO14001の認証
を取得 |
| 2012年3月 | 本社部門でISO14001の認証を取得 |
| 2013年3月 | 「なんかいの森」におけるオフセット・クレジットの
認証を取得 |
| 2014年3月 | 大阪府、岬町、大阪府立環境農林水産総合研究所と
「おおさか生物多様性パートナー協定」を締結 |
| 2014年4月 | E C Oニスト制度導入 |



わたしたち南海電鉄グループは「地球環境保全」を企業の使命の1つと認識し、**すべての事業活動を通じて環境への影響を常に配慮**し、自然環境にやさしい社会づくりに向けて行動します。



グループ経営方針

当社グループの普遍的なテーマを「グループ経営方針」として位置づけます。

(1) 安全・安心の徹底

鉄道をはじめとしたすべての事業において安全・安心を徹底

(2) 環境重視

「地球環境保全」を使命として認識、事業において環境に配慮

(3) コンプライアンスの徹底

法令遵守、自らの社会的責任を認識、公正で健全な企業活動

(4) 顧客志向の追求

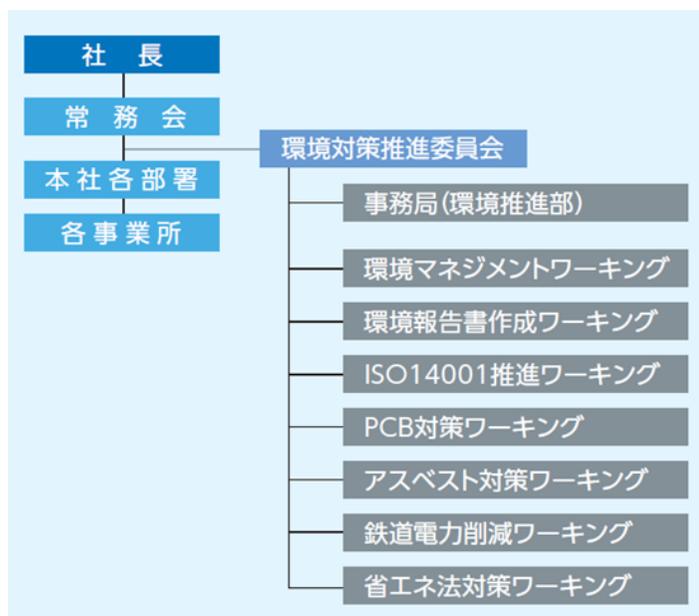
地域に密着した企業として、お客さまの目線での行動を徹底



環境経営推進体制

環境対策推進委員会

環境対策推進委員会を毎年開催し、中期環境目標の決定、年間目標・実績の管理、ISO14001の目標・実績の管理などを実施している。



環境対策推進委員会メンバー

委員長: 経営政策室長

委員: グループ事業室長 プロジェクト推進室長

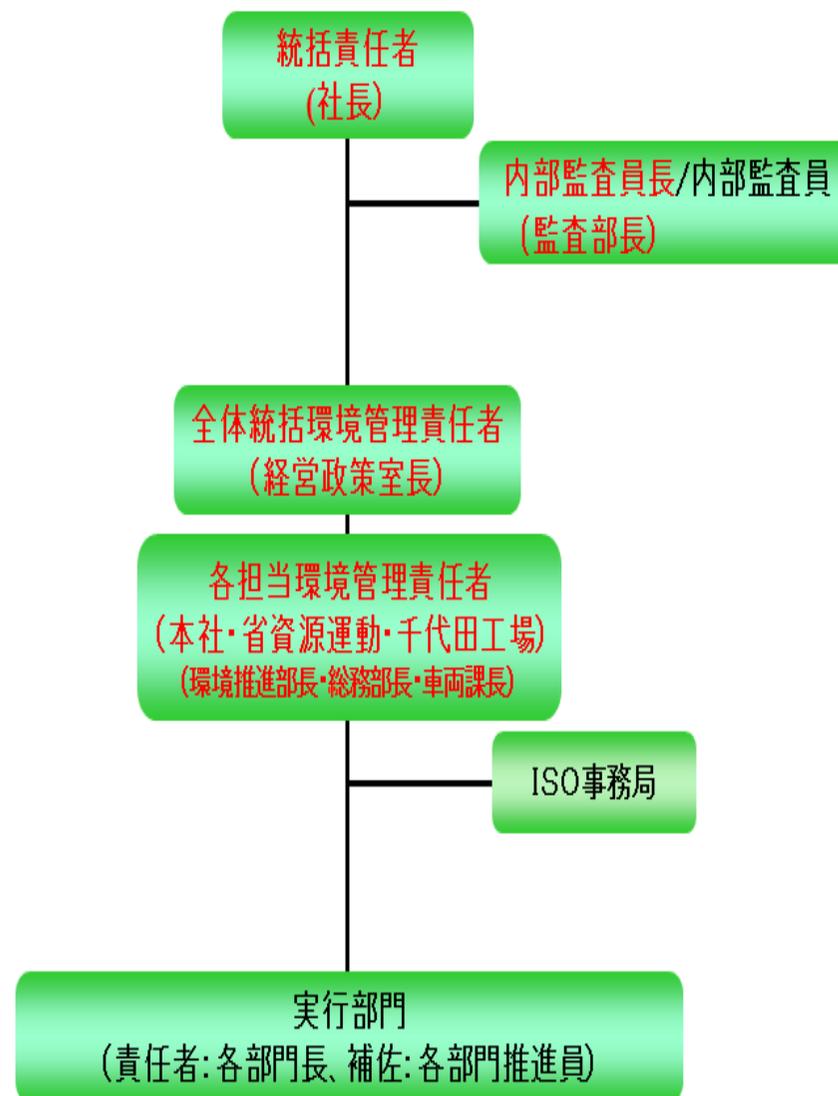
 営業推進室長 総務室長

 経理室長 鉄道営業本部長

 不動産営業本部長 流通営業本部長

事務局長: 環境推進部長

ISO14001認証のEMS推進体制

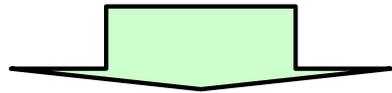




環境経営概観図

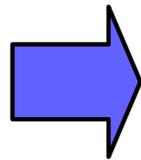
《南海グループ「環境理念」》

「地球環境保全」を企業の使命の1つと認識し
全ての事業活動を通じて
環境への影響に常に配慮し、
自然環境にやさしい社会づくりに向け行動



《南海電鉄「環境方針」》

- ・環境保全に配慮した事業活動の推進
- ・鉄道、バスの利用促進を通じての環境負荷低減
- ・地域社会との協働、コミュニケーションの強化
- ・環境に関連する法令・条例等の順守、汚染の予防
- ・環境マネジメントシステムの継続的改善



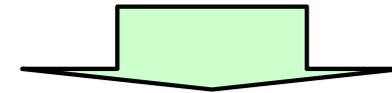
《企業を取り巻く社会情勢》

「地球温暖化」など地球規模での環境悪化



企業の環境保全への取り組み姿勢が問われる時代

- ※環境への対応が企業価値を高める
- ※環境にやさしいことで商品・サービスに付加価値がつく



1

減らすエコ (部門共通の取り組み)

職場で発生する環境負荷を減らす活動

省資源運動 (電気、紙、廃棄物などの削減)
業務改善 (効率性追求) + 環境負荷低減

2

増やすエコ (各部門での取り組み)

業務課題への取り組みの中で、環境改善を一体的に推進

環境にやさしい、という社会的価値を高める
成果を上げる (収益増、企業イメージアップなど)

取り組みの
価値を増やす

(例) 鉄道の利用促進、省エネ設備機器等の導入、
地域連携による緑化活動 など

3

守るエコ

環境に関連する法令等を順守 (リスク対応)



3. 環境経営の主な取り組み

- 3-1. CO₂削減のための中期環境目標の設定
- 3-2. 森林保全活動と従業員の意識向上
- 3-3. 自治体との協働および地域活性化への貢献



3-1. CO₂削減のための中期環境目標の設定

中期環境目標（2008年度～2010年度）でのCO₂削減実績

目 標

省エネ法対象会社3社 のCO₂削減目標 **3%** (6,240 t) 削減

背景

各社の事業拡充やバリアフリー施設増のため省エネ車両の導入が困難

そこで

各社には削減ノルマは課さず、計測を開始し、数値管理を依頼

結果

実 績

省エネ法対象会社3社 のCO₂削減実績 **3.2%** (6,600 t) 削減



CO₂削減のための中期環境目標の設定

中期環境目標（2011年度～2014年度）でのCO₂削減実績

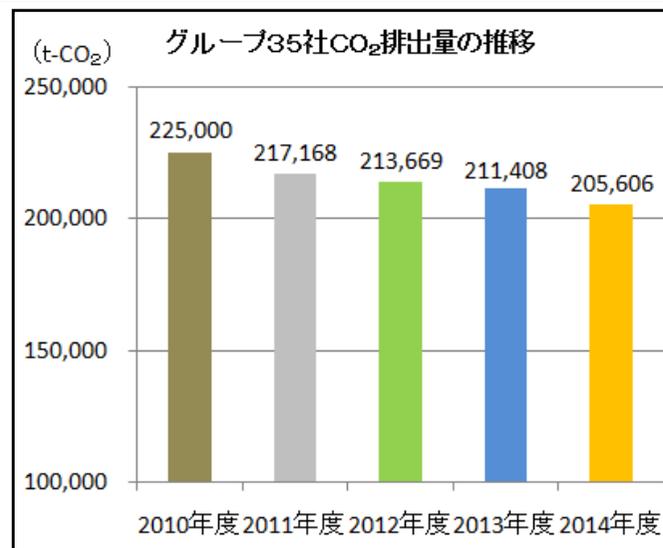
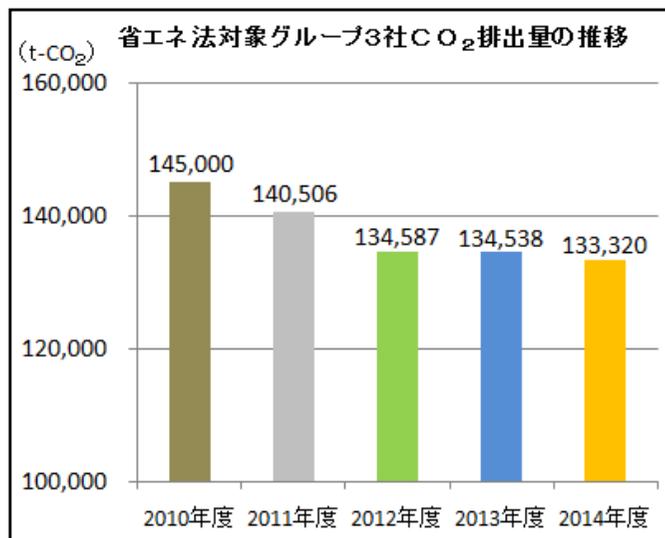
目標

省エネ法対象会社3社、グループ35社のCO₂削減目標ともに**4%削減**

中期環境目標から継続して、グループ各社にCO₂削減に向けた意識が浸透

実績

省エネ法対象会社3社のCO ₂ 削減実績	8.0% （11,680 t）削減
グループ35社のCO ₂ 削減実績	8.6% （19,394 t）削減





CO₂削減のための主な取り組み

- 省エネ車両の導入（VVVF車両、照明のLED化）
- 駅照明のLED化
- 高効率変圧器の導入
- 省エネ型空調設備の導入
- 太陽光発電システムの導入
- 雨水の活用
- 本社・千代田工場のISO14001の取り組み
- CNGバスの導入
- 100%ドライブレコーダー設置によるエコドライブの実施



鉄道事業の環境への取り組み

■省エネ車両導入

VVVF、LEDなど

12000系サザン



■太陽光パネル

泉大津駅71,774kWh (2014年度)

泉佐野駅9,789kWh (2014年度)

泉大津駅太陽光パネル



■雨水の活用 (泉大津駅)

961 m³ (2014年度)



グループ会社の取り組み

阪堺電気軌道

超低床式VVVF車両導入

2012年度 堺トラム「茶ちゃ」

2013年度 堺トラム「紫おん」

2014年度 堺トラム「青らん」

南海バス

CNG（天然ガス）バス12両導入

観光周遊バス堺まち旅ループバス運行開始

2015年3月より

公益社団法人堺観光コンベンション協会と共同で運行
観光客の交通利便性を高め、公共交通の利用を促進



阪堺1001形 超低床車両「堺トラム」



観光周遊バス堺まち旅ループバス



3-2. 森林保全活動と従業員の意識向上

1. 「なんかいの森」間伐とカーボンオフセット
2. 環境ボランティア活動と環境イベント
3. ECOニストプログラム



「なんかいの森」間伐活動

- なんかいの森（奈良県十津川村） 約510haを所有
約40年に渡り森林保全活動を実施しています
- 2013年3月オフセット・クレジット認証取得
(1,928t-CO₂)





オフセット・クレジット(J-VER) 認証取得までの経緯

当初、2011年度J-VER
認証取得を目指す。



なんかいの森への国道も崩壊し、
2011年9月から数ヶ月の間、
道路が遮断し不通



モニタリング(計測)の途中で台風、
落雷、洪水があり、山の半分が崩壊



その結果、2013年3月に
J-VER 認証取得が遅れた

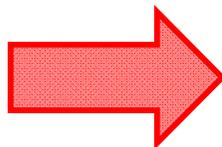


カーボンオフセット「高野山・世界遺産きっぷ」

「高野山・世界遺産きっぷ」を利用して高野山に行くお客さまの移動に伴うCO₂をオフセット(相殺)する

目標

当初、2014～2015年度でCO₂ 600 t をオフセット



実績

大幅な利用増により、800 t 以上のオフセットとなる見込み。(2014年度実績321 t CO₂をオフセット)

エコでお得! **ご利用で、もっとエコ**

高野山・世界遺産きっぷ

きっぷのご利用により、排出されるCO₂を当社がなんかいの森クレジット(森林育成により増えるCO₂吸収分)で相殺。 ※平成26年4月1日～平成28年3月31日のご購入分が対象

「CO₂排出ゼロきっぷ」です!

なんかいの森 間伐材を使用した「天空積み木」プレゼント 抽選で毎月5名様

期間中、「高野山・世界遺産きっぷ」をお買い求めのうえ、ご応募頂いたお客さまの中から、抽選で「なんかいの森」の間伐材を使用した積み木をプレゼント!
対象期間:平成26年4月1日～平成28年3月31日
※当社が奈良県十津川村で育成する約610haの森林

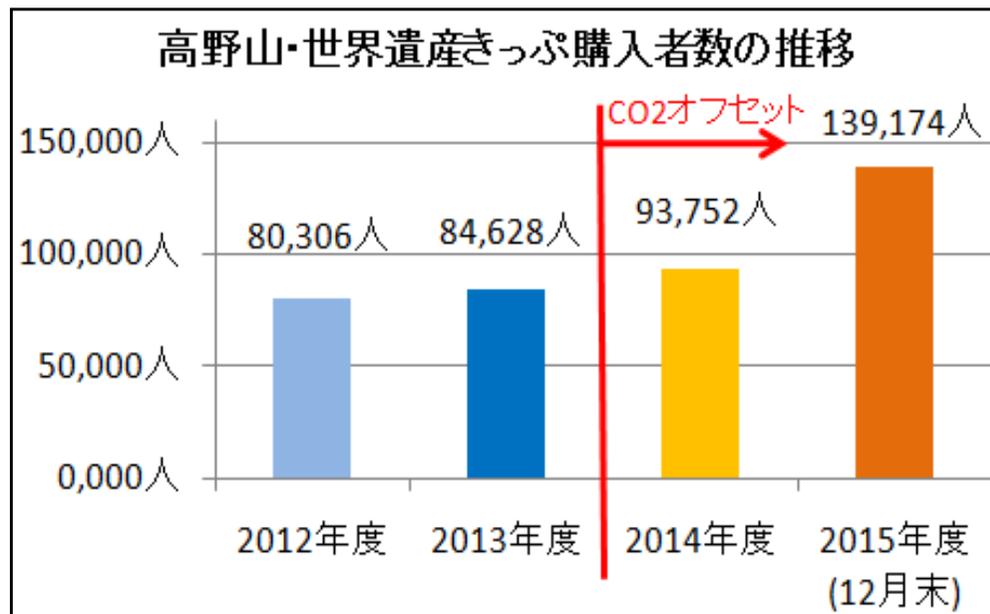
切符の内容

- 電車割引往復乗車券(南海電鉄 主要駅～高野山駅まで)
- 高野山内バス2日フリー乗車券(南海りんかんバス)
- 拝観料2割引サービス券(金剛峯寺、金堂、根本大塔、霊宝館)
- お土産・飲食1割引サービス券(珠数屋四郎兵衛、中本名玉堂、高野茶屋 和九)

発売額

【例】なんば駅からの場合
おとな 2,860円(小児 1,440円) **通常運賃の約17%off**
こうや往路特急券付:おとな 3,400円(小児 1,710円)

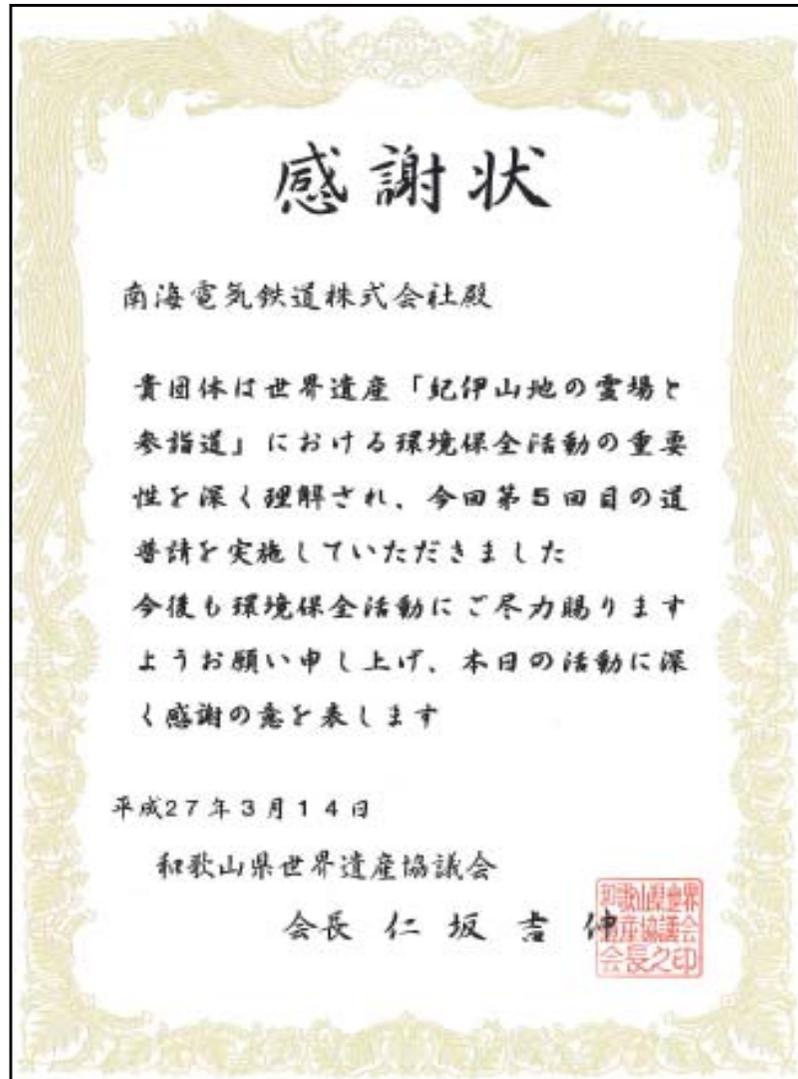
積んで貯んでも、鑑賞用としても楽しめます!





世界遺産熊野古道、高野山での道普請活動

2010年度から毎年実施



車両の入れない山道を人力で数トンの土を運搬



穴のあいた道に土を入れ、踏み固めて補修



地域の森林整備活動

地域の自治体、住民の方などととともに、年4回、森林保全ボランティア活動に取り組んでいます。

高野線高野下駅周辺



高野線極楽橋駅周辺





ECOニストプログラム

＜環境活動への従業員参加促進制度＞

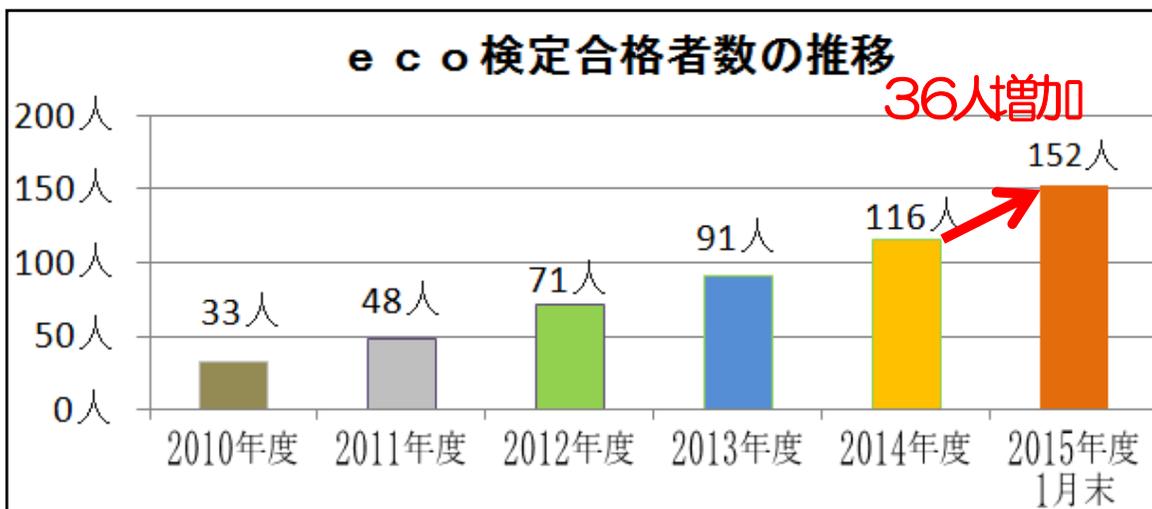
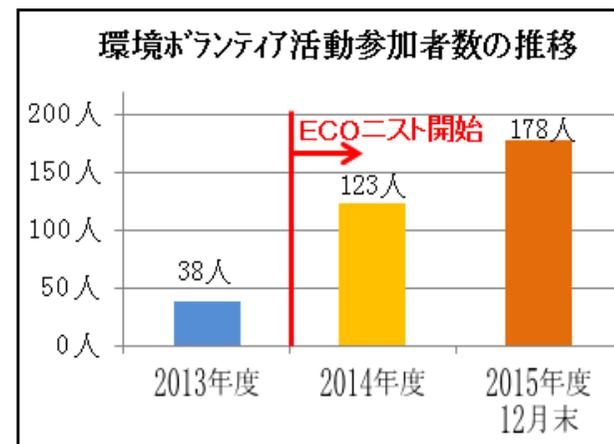
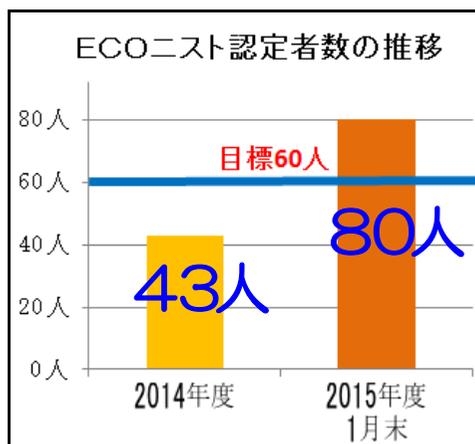
2014年4月1日からECOニストプログラムを開始し、
継続して取り組んでいます。

『ECOニスト』とは？

高い環境意識を持って積極的、
主体的に環境活動に取り組む
南海電鉄従業員をさします。

年度を通じ2回以上環境活動
に参加した者を「ECOニスト」
として認定し、認定証を
授与します。

また、eco検定に合格してい
る者は、1つの認定活動への参
加で、「ECOニスト」と認定
します。従業員への「環境経
営」意識の浸透を図ります。





マンスリーレポート

マンスリーレポートで、
毎月、【特集】と「減らすエコ」
(かみ ゴミ、電気) 等について周知

環境マネジメントシステム

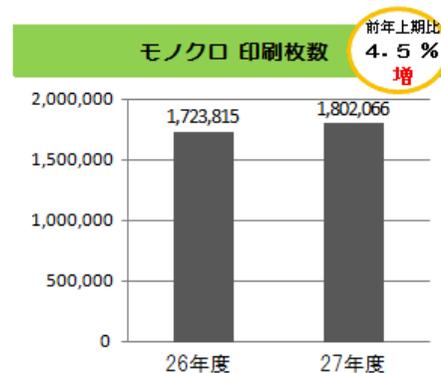
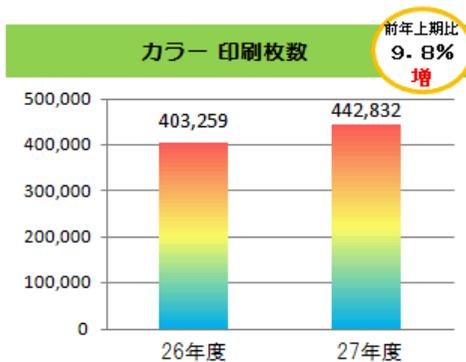
EMSマンスリーレポート

【グループ経営方針】
『環境重視』

【特集】上期の複合機使用量の前年度比較と分析

複合機使用量の増加傾向が続いていますので、平成26年度上期実績と比較分析しました。
各部署での複合機使用量や増加原因の確認とより一層の使用量削減協力をお願いいたします。
※フルカラー印刷を減らし、なるべく費用の安い2色印刷にいたしましょう。⇒

【減らすエコ（上期実績）】コピー使用量（枚数）比較 ※前年度上期比較

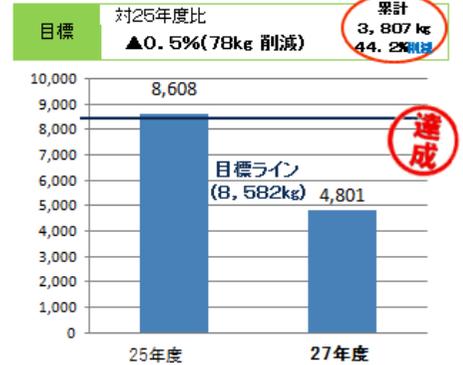


【減らすエコ(4月～9月実績)】OA用紙・一般廃棄物・電気使用量

OA用紙

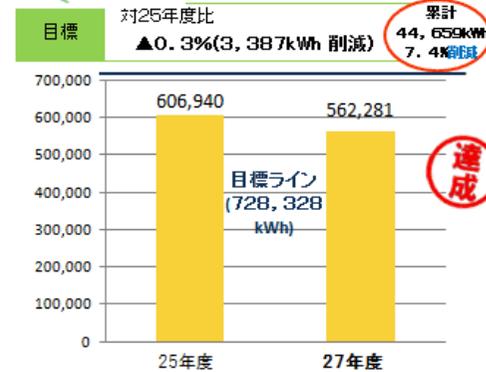


一般廃棄物



本社における廃棄物等の分別基準は、こちら！⇒

電気使用量



OA用紙、一般廃棄物、電気使用量のすべてで目標を達成しています。
ただし、OA用紙は平成25年度より増加しており、より一層の節減にご協力をお願いいたします。
プラスチックごみの分別による効果もあり、一般廃棄物は今月も好調に削減できています。
電気使用量は順調に削減できています。引き続き、皆さまのご協力をお願いいたします。

部門別・コピー費用削減ランキング

今月最も効率化(コピー費用)を削減したのは...





3-3. 自治体との協働および地域活性化への貢献

1. 大阪府グリーンパートナー協定
おおさか生物多様性パートナー協定
2. 自治体と連携した環境保全活動の実施
3. 屋上庭園を有する商業施設なんばパークス



2009年6月 大阪府とグリーンパートナー協定を締結

2014年3月 以下の4者で
おおさか生物多様性パートナー協定締結

- 大 阪 府
- 岬 町
- 大阪府立環境農林水産総合研究所
- 南海電気鉄道





多奈川ビオトープ緑化のようす

2005年当時の様子



ビオトープ
の元の場所

2013年の様子



ビオトープ
1.8ha



ビオトープハイキング

毎年開催し、数百人の方にご参加いただいている
孝子駅～みさき公園駅間の山林のハイキングと
多奈川ビオトープの自然観察会などを実施





交通かんきょう教室

NEWS RELEASE



国土交通省

国土交通省 近畿運輸局

問い合わせ先
(所属) 交通政策部 環境・物流課
(担当) 岩佐・松浦
(電話) 06-6949-6466

平成27年7月1日

1日交通かんきょう教室開催!

～これからは もっと楽しく バス・電車～

近畿運輸局では、次世代を担う子供達に交通を取り巻く環境問題や電車・バス等の環境負荷の小さい交通体系について理解してもらうとともに、環境に優しい行動を取ってもらうことを目的に、親子と一緒に環境問題を学ぶ「交通環境教室」を毎年開催しています。

今年度は、河内長野市在住の小学生及びその保護者を対象に、バスにまつわる河内長野市の取組や、バスの乗り方教室、南海電鉄株式会社千代田工場において車両吊り下げ実演等の見学を実施します。

記

1. 日 時 平成27年8月21日(金) 10:00～16:00

2. 実施場所 午前：河内長野市市民交流センター
午後：南海電鉄株式会社千代田工場

3. 内 容
- 大学の先生による交通とかんきょうのお話
京都大学大学院 神田佑亮准教授を講師に、交通、環境など様々な視点からバスの魅力を発見し、交通と環境について学習します。
 - クイズ形式で楽しくバスを知ろう
 - バスの乗り方教室
公共交通利用促進に向けた河内長野市及び南海バス株式会社の取組を紹介するとともに、バスの乗り方を学習します。
 - 南海電車のとりくみのお話
 - 千代田工場で電車見学ツアー
河内長野市内を走る南海電鉄株式会社の環境に対する取組を紹介するとともに、千代田工場において車両吊り下げ実演等を見学します。

4. プログラム概要

時間	内容
10:00～10:15	開会あいさつ 注意事項説明(近畿運輸局)
10:15～10:45	交通とかんきょうのお話(京都大学大学院 神田准教授)
10:45～12:00	クイズ形式で楽しくバスを知ろう(河内長野市) バスの乗り方教室(南海バス株式会社)
12:00～13:00	昼食
13:00～13:15	移動
13:15～14:00	南海電車のとりくみのお話(南海電鉄株式会社)
14:00～15:55	千代田工場で電車見学ツアー(南海電鉄株式会社千代田工場)
15:55～16:00	閉会あいさつ(河内長野市)

※内容については変更することがあります

5. 参加者

河内長野市在住の小学生とその保護者 25組50名
(申込み多数の場合は抽選となります。)

6. 申込方法

1. 河内長野市HPから申し込み
2. ハガキに住所・氏名(保護者名含む)・連絡先・催し名を明記の上、
同市都市づくり部都市創生課まで郵送(7月31日消印有効)

7. 過去3力年の実績

平成24年度 豊中市(参加者62名) / 座学及び全日空機体整備工場見学
平成25年度 八尾市(参加者89名) / 座学及び近鉄車両基地ほか見学
平成26年度 大阪市(参加者33名) / 座学及び大阪市交中津営業所見学



※昨年度の教室の様子

※なお、教室の取材を希望される場合は、別紙取材申込書にて事前の登録をお願いいたします。



環境イベント（丸太切り）

「なんかいの森」のヒノキの間伐材を使って、年数回「丸太切り＆コースター（又はコマ）づくり」イベントを沿線各地（なんば、すみのえ、泉ヶ丘、千代田、など）で開催し、沿線の皆様に対して環境啓発活動を実施している。





堺の森再生イベント

環境モデル都市 堺市と連携し、2015年12月5日開催。
環境省認定の「重要里地里山」で間伐作業、下草刈を実施する
とともに、自治会の協力により、
地元産の食材による炊き出しを提供→**地産地消**の推進。

堺の森再生 始動!

豊かな堺の里山を
みんなの力で取り戻そう。

募集案内

【開催日時】 平成27年12月5日(土)
※雨天時は、12月6日(日)に延期。
10:00~14:30
(09:30より受付)

【開催場所】 堺公園墓地の川向い
※裏面のアクセスマップを参照。

【募集人数】 50名(応募多数の場合は抽選)

【応募方法】 ファックス、メール、ハガキにて受付。
詳しくは、裏面をご覧ください。

【参加費】 小学生以上 1名につき500円(昼食付き)
幼児無料(保護者同伴のこと)
※堺市緑の保全基金へ充当します。

堺の森再生 検索

里山体験
森をあそぼう 新米を味わう
主権：堺市 協賛：南海電気鉄道株式会社 協力：鉢ヶ藷寺自治会





屋上庭園を有する商業施設なんばパークス



都会のオアシス
ヒートアイランド現象の緩和
緑の快適性
地域の憩いの場

毎木調査の様子

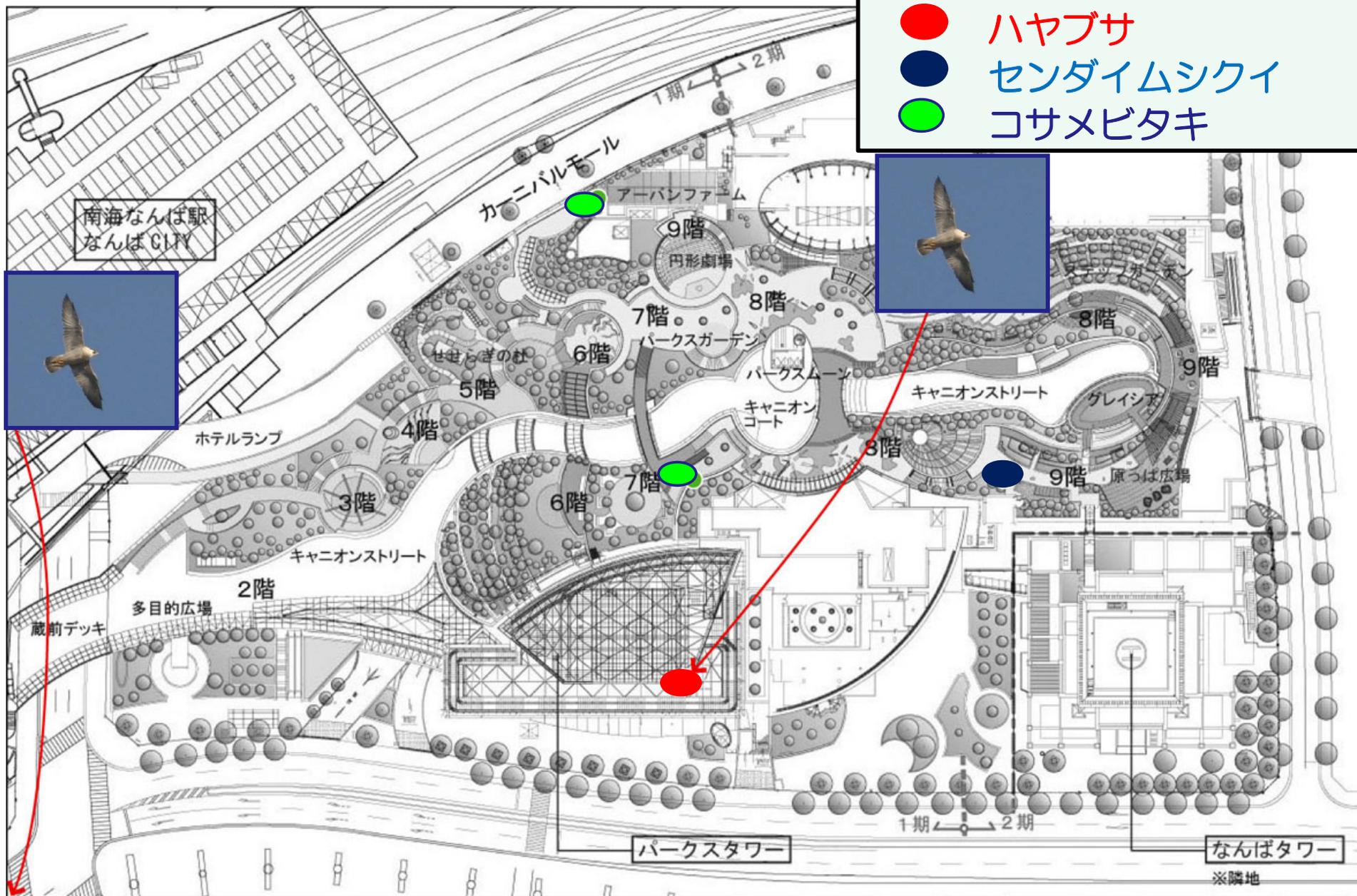




なんばパークス (鳥類分布)

凡例

- ハヤブサ (飛行ルート)
- ハヤブサ
- センダイムシクイ
- コサメビタキ





なんばパークス



日立環境財団・日刊工業新聞社主催
「第41回環境賞」
の優良賞を受賞

アメリカの有名旅行専門誌
『Travel + Leisure』で、
もっとも美しい都市公園
の1つに選ばれる





4. 今後の活動方針

中期環境目標（2015年度～2017年度）

1. 環境保全に配慮した事業活動の推進
 - 省エネ法対象会社5社でCO₂排出量3%削減
 - グループ会社45社でCO₂排出量3%削減
 - グループ会社45社で、水使用量、廃棄物排出量5%削減、J-VERの活用方法の策定ほか
2. 地域社会との協働、コミュニケーションの強化
 - 環境関連事業への参画ほか
3. 環境経営に係る情報発信機能の強化
4. 環境経営の推進体制の強化
 - ISO14001規格改訂への対応ほか



今後の活動方針

今後もCO₂削減や環境保全活動を通して
地球温暖化防止に貢献していきます

環境省「COOL CHOICE」運動の実践
モーダルシフト推進への対応
クリーンエネルギー、資源循環の活用
沿線地域との連携による環境保全活動の強化



ご清聴

ありがとうございました